不動産業業況等調査（平成30年1月）*1

第63号にて配信済み

● 現在の経営状況*2

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業分野</th>
<th>前回からの変化</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>住宅・宅地分譲業</td>
<td>17.6 p</td>
</tr>
<tr>
<td>不動産流通業（住宅地）</td>
<td>△ 10.0 p</td>
</tr>
<tr>
<td>ビル賃貸業</td>
<td>8.0 p</td>
</tr>
</tbody>
</table>

前回からの変化

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から9.3p改善し17.6p。20期連続のプラス水準。
不動産流通業は前回から2.1p改善し△10.0p。8期連続のマイナス水準。
ビル賃貸業は前回から5.9p改善し8.0p。15期連続でのプラス水準。

● 3ヶ月後経営状況見通し*3

<table>
<thead>
<tr>
<th>事業分野</th>
<th>前回からの変化</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>住宅・宅地分譲業</td>
<td>0.0 p</td>
</tr>
<tr>
<td>不動産流通業（住宅地）</td>
<td>△ 0.8 p</td>
</tr>
<tr>
<td>ビル賃貸業</td>
<td>△ 12.0 p</td>
</tr>
</tbody>
</table>

前回からの変化

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業およびビル賃貸業で改善、不動産流通業は悪化。住宅・宅地分譲業のマイナス水準は3期で止まった。不動産流通業は2期ぶりにマイナス水準に、ビル賃貸業は3期ぶりにプラス水準に転じた。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100〜100、0が判断の分かれ目）。
調査時期は毎年1、4、7、10月。
*2 経営の状況={(「良い」×2+「やや良い」)-(「悪い」×2+「やや悪い」)}÷2×回答数×100
*3 3ヶ月後の見通し={(「良くなる」×2+「やや良くなる」)-(「悪くなる」×2+「やや悪くなる」)}÷2×回答数×100

不動産業業況等調査結果(pdf)ダウンロード
資料:一般財団法人土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第64号「不動産業業況等調査」